

## 第1章 方法市長意見書等を総合的に検討して

### 方法書の内容を変更した事項



## 第1章 方法市長意見書等を総合的に検討して方法書の内容を変更した事項

令和4年4月に提出した2027年横浜国際園芸博覧会 環境影響評価方法書（以下、「方法書」とします。）に対する方法市長意見書及び令和5年3月に提出した事業内容等修正届出書に対する環境影響評価審査会からの附帯意見等を総合的に検討し、方法書の内容を変更した事項は、表 1-1 に示すとおりです。

表 1-1 (1) 方法書の内容を変更した事項

項目	方法書からの変更点	準備書での記載概要	準備書該当ページ	
対象事業の計画内容	対象事業の概要	事業者の氏名及び住所	事業者の公益認定に伴い、名称を変更しました。また、新たな代表理事の就任に伴い代表者の氏名を変更しました。事務所移転に伴い、主たる事務所の所在地を変更しました。	p. 2-1
		対象事業の種類、規模	本博覧会の計画の深度化に伴い、対象事業実施区域面積を約118.1haに変更しました。	p. 2-1
		対象事業実施区域	本博覧会の計画の深度化に伴い、対象事業実施区域の範囲を変更しました。また、駐車場の規模、配置を変更しました。	p. 2-2 以降のすべての関係箇所
	対象事業の目的及び基本認識	対象事業の目的及び基本認識	「2027年国際園芸博覧会基本計画」（以下、「基本計画」という。）に基づき、内容を修正しました。	p. 2-4 ～2-5
	対象事業の内容	全般	基本計画及び本博覧会の計画の深度化に伴い、対象事業の方針、対象事業の計画、輸送計画、植栽地管理計画、レガシー計画及び今後のスケジュールを修正するとともに、会場運営計画を追記しました。	p. 2-6 ～2-41
		対象事業の計画	方法市長意見書及び附帯意見を踏まえ、最新の会場配置計画を記載するとともに、博覧会の開催後に撤去する施設と公園整備事業に引き継ぐ施設を追記しました。また、駐車場の配置・規模・形状や土地被覆の性状・緑化などの整備内容、駐車場等の収容台数について設定の考え方、設定にあたって参考とした過去の事例との類似性、駐車場等を円滑に運用するための方策について追記しました。さらに、国産材の活用などの環境配慮事項についても記載しました。	p. 2-12 ～2-28
		輸送計画	方法市長意見書及び附帯意見を踏まえ、現在想定している交通分担率やシャトルバス発着駅、現在想定しているパークアンドライド駐車場の位置や収容台数、関係車両の走行台数や経路、駐車場等における駐車エリア・収容台数・出入口の位置、駐車場等を円滑に運用するための方策などを記載しました。	p. 2-29 ～2-35
		会場運営計画	電力を100%再生可能エネルギーとする内容について記載しました。	p. 2-38
	施工計画	全般	本博覧会の計画の深度化に伴い、内容を修正しました。	p. 2-42 ～2-46
		工事概要等	方法市長意見書を踏まえ、本博覧会と関連事業の整合を図り、各事業の整備内容を記載しました。	p. 2-42 ～2-43
工事工程		本博覧会及び関連事業の計画の深度化に伴い、工事工程を修正しました。	p. 2-43 ～2-44	

表 1-1 (2) 方法書の内容を変更した事項

項目		方法書からの 変更点	準備書での記載概要	準備書 該当ページ
対象事業の 計画内容	施工計画	工事中の 配慮事項	横浜市環境影響評価審査会での指摘を踏まえ、工事中の配慮事項を修正しました。	p. 2-45
	生物多様性の 保全	生物多様性の 保全	方法市長意見書を踏まえ、公園整備事業に引き継ぐ施設について追記しました。	p. 2-48
	地球温暖化対策	全般	基本計画及び本博覧会の計画の深度化に伴い、内容を修正しました。	p. 2-47 ～2-51
	緑の保全と創造			
	本博覧会の経緯			
地域の概況及び 地域特性	全般	方法書の公告・縦覧以降、既存資料が更新されたものについては、既存資料の時点更新を行いました。	p. 3-1～ 3-169	
	交通の状況	基本計画及び本博覧会の計画の深度化に伴い、シャトルバス発着駅の乗車人数を追記しました。	p. 3-124～ 3-129	
環境影響要因の抽出 及び環境影響評価 項目の選定	環境影響評価 項目の選定	方法市長意見書を踏まえ、環境影響要因「開催中の会場施設等の存在」に係る環境影響評価項目として「水循環（河川の流量）」を選定しました。	p. 5-2、5-6	
		本博覧会の計画の深度化に伴って、選定した理由・選定しない理由を修正しました。	p. 5-4、5- 6、5-8、5-9	
環境影響評価	温室効果ガス	予測	方法市長意見書を踏まえ、水の使用に伴う温室効果ガス排出量を参考値として算定しました。	p. 6. 1-36 ～6. 1-37
	生物多様性 (動物)	予測	方法市長意見書及び附帯意見を踏まえ、動物に及ぼす影響を予測、評価する際には、駐車場等の配置や形状、土地被覆の性状を踏まえて実施しました。	p. 6. 2-115、 p. 6. 2-124
	生物多様性 (植物)	予測	方法市長意見書及び附帯意見を踏まえ、植物に及ぼす影響を予測、評価する際には、駐車場等の配置や形状、土地被覆の性状を踏まえて実施しました。	p. 6. 3-38、 p. 6. 3-41
	生物多様性 (生態系)	予測	方法市長意見書及び附帯意見を踏まえ、生態系に及ぼす影響を予測、評価する際には、駐車場等の配置や形状、土地被覆の性状を踏まえて実施しました。	p. 6. 4-21、 p. 6. 4-25～ 6. 4-26
	水循環 (湧水の流量、 河川の流量)	調査、予測及 び評価	方法市長意見書及び附帯意見を踏まえ、環境影響要因「開催中の会場施設等の存在」に係る環境影響評価項目として「水循環（河川の流量）」を選定し、駐車場等の設置に伴う土地被覆の変化による流量への影響が想定される河川について、調査、予測、評価しました。 関連事業の環境影響評価準備書との整合を図るため、調査地点番号を修正しました。	p. 6. 5-1 ～6. 5-29
	大気質	調査	関連事業の環境影響評価準備書との整合を図るため、調査地点番号を修正しました。	p. 6. 7-6 ～6. 7-82
	騒音	調査	関連事業の環境影響評価準備書との整合を図るため、調査地点番号を修正しました。	p. 6. 8-5 ～6. 8-58
	振動	調査	関連事業の環境影響評価準備書との整合を図るため、調査地点番号を修正しました。	p. 6. 9-4～ 6. 9-45

表 1-1 (3) 方法書の内容を変更した事項

項目		方法書からの変更点	準備書での記載概要	準備書 該当ページ
環境 影響 評価	地域社会	予測及び評価	方法市長意見書及び附帯意見を踏まえ、現在想定しているパークアンドライド駐車場周辺における交通混雑について予測、評価しました。	p. 6. 10-69～ 6. 10-73、 p. 6. 10-75
			駐車場等の出入口や周辺道路の交通混雑については、予測地点（交差点 12）を追加し、博覧会の開催期間中の信号設定等の交通制御も考慮して予測、評価しました。	p. 6. 10-54～ 6. 10-64、 p. 6. 10-75
			鉄道からのシャトルバスへの乗換えを行う結節点における周辺住民等の駅利用への影響、環状 4 号線などの横断方法や歩行者の安全上の配慮について記載しました。	p. 6. 10-65～ 6. 10-66、 p. 6. 10-76
	景観	調査、予測及び評価	方法市長意見書、横浜市環境影響評価審査会での指摘及び附帯意見を踏まえ、調査地点（No.28、29、30、31、32、33、34）を追加するとともに、予測方法を変更しました。	p. 6. 11-4 ～6. 11-68

